

線形代数学第一 (LAS.M102-10)

行列式の性質

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

`http:`

`//www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/linear-1/`

東京工業大学

2022/05/13 (2022/04/25 訂正)

置換再論

テキスト 79–82 ページ

- ▶ n 次の置換 $\boldsymbol{p} = (p_1 p_2 \dots p_n)$
- ▶ 互換
- ▶ 置換の符号 $\text{sgn } \boldsymbol{p}$ は互換の偶奇

交代性

- ▶ 行列式は列（行）の入れ替えに関して交代的.

$\det A = \sum (\operatorname{sgn} \mathbf{p}) a_{1p_1} a_{2p_2} \dots a_{np_n}$ 総和は n 次の置換 $\mathbf{p} = (p_1 p_2 \dots p_n)$ 全体にわたってとる.

積の行列式

▶ $\det(AB) = \det A \det B$

$\det A = \sum (\text{sgn } \mathbf{p}) a_{1p_1} a_{2p_2} \dots a_{np_n}$ 総和は n 次の置換 $\mathbf{p} = (p_1 p_2 \dots p_n)$ 全体にわたってとる.

例

- ▶ 基本行列 $P_j(s)$
- ▶ 基本行列 P_{ij}
- ▶ 基本行列 $P_{ij}(s)$

行（列）基本変形と行列式

例

$$\begin{vmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 2 & 3 & 4 & 1 \\ 3 & 4 & 1 & 2 \\ 4 & 1 & 2 & 3 \end{vmatrix}$$

問題 9-1

問題

- ▶ 2次正則行列 $A = [\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2]$, 2次元ベクトル \mathbf{b} に対して, 方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ の解は

$$\mathbf{x} = \frac{1}{\det A} \begin{bmatrix} \det[\mathbf{b}, \mathbf{a}_2] \\ \det[\mathbf{a}_1, \mathbf{b}] \end{bmatrix}$$

であることを確かめなさい.

- ▶ 3次正則行列の場合はどうか.

問題 9-2

問題

各成分が変数 t の微分可能な関数であるような n 次正方行列 $A(t) = [a_{ij}(t)]$ に対して $\frac{d}{dt}A(t) = A'(t) := [a'_{ij}(t)]$ と定める.

- ▶ $n = 2$ のとき,

$$\frac{d}{dt}(A(t)^{-1}) = -A(t)^{-1} \left(\frac{d}{dt}A(t) \right) A(t)^{-1},$$

$$\frac{d}{dt} \det A(t) = \det A(t) \operatorname{tr} \left(A(t)^{-1} \frac{d}{dt}A(t) \right)$$

であることを示しなさい.

- ▶ $n = 3$ のとき, 2 の場合と同じ公式が成立することを示しなさい.